

甲寿園だより

2022年 9月号

発行 2022年9月1日
特別養護老人ホーム甲寿園
西宮市甲山町53番地
TEL 0798-71-8236 FAX 0798-73-7303
メールアドレス kabuto.01@minos.ocn.ne.jp
ホームページ http://kojyuen.jp/

法人理念：人が人として人とともに豊かに生きる

facebook



8月の甲寿園



8月18日

昼食に沖縄県の郷土料理！



北館2階
8月の誕生日会



お部屋のカレンダーで季節の移り変わりを楽しまれています。もうすぐ秋ですね。素敵な言葉を教えてもらったので紹介します。「一日一日、小さな愛をみつけよう」



園長のコーナー「サンポウヨシナシゴト」



広報委員の皆さんに無理を言って「園長のコーナー」なるものを作ってもらいました。いまどきは、インターネットを介したSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等で発信するのが主流なのかもしれませんが、原稿締め切りのある定期的な刊行物のほうが自分には合っていると思い、この場を設けてもらいました。

さて、先日のこと「土用の丑の日」を前にして、デイサービス（以下、デイ）のとあるご利用者からお電話を頂戴しました。もう夜の時間帯でデイの職員は誰もいなかったため、事務所の職員が対応しました。内容は概ねつぎのようなものでした。「いつもデイの食事を楽しみにデイに伺っています。次回の利用日のお献立を見ると、土用の丑の日で鰻井なんです。どうしようか考えたんですけど、どうしても鰻は食べられないので、お休みさせてください。」お話を承ったうえで、翌日あらためてデイの職員から連絡させますとお伝えして、電話を切りました。

翌日、デイの相談員が管理栄養士に何らかの代替品を提供できないものかと相談・確認し、ご利用者に連絡しました。鰻に替えて「カレー」をご用意することで、喜んでデイに来て下さるということになり、一件落ち着いた。

代替食を提供すること自体は、どこの事業所でも日々当たり前になされていることでしょう。でも、この鰻にまつわる一連のやり取りを傍で見ていると、私は心あたたまることがありました。

その理由のひとつには、ご利用者が熱心に献立をご覧になり、食事を楽しみにしてくださっているのが、ひしひしと伝わってきたこと。電話をかけることも躊躇されたことでしょう。もうひとつはいろんな職種が、ああでもねえーこーでもねえーと言いながら、ご利用者の満足のために工夫を凝らして関わっていたこと。（これをコーディネートと言う。らしい）

個別ケアが大事、わかってはいてもあらゆるご要望にお応えすることは困難です。それでも「何かできることはないか」と努力や工夫をする職員の姿は、キラリと輝いているのです。

という風に、介護や福祉に関する出来事や情報、よしなしごとを硬軟織り交ぜながら書いてまいりますので、よろしくお願いいたします。



リハビリ室からのお便り



職員同士でリフト移乗の練習を行いました。操作の流れ、注意点など、覚えることはたくさんあります。その中でもリハビリ職員としてのポイントは、自分の身体の使い方でしょうか。より負担のない姿勢と、分かりやすい伝え方を目指します！

栄養室より 今月の行事食



お昼ごはん

- ・沖縄そば
- ・ゴーヤ
- チャンプル
- ・もずくの酢の物
- ・パイナップル

おやつ

- ・紅芋タルト
 - ・紅堤
 - ・パイナップル
 - ムース
- からお好きな物を

